

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	リニア整備課	事業No.	45
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H27	終了	R9
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画				
	法令・例規等				
事業目的		対象	リニア駅周辺		
		意図	リニア開業に向け、駅周辺を整備する		

2 事業内容

2年度取組	取組内容	経費の内容		事業費(千円)
	令和元年度に策定したリニア駅周辺整備の基本設計に基づき、実施設計に着手しました。(R2年度~R3年度) 「飯田・リニア駅前空間デザインノート」を具現化するために、規模や構造、意匠等の決定に向けた各種プロジェクトでの協議を進めました。 また、リニアの整備に伴う関連事業として、必要となるリニア駅周辺エリアの道路整備に取り組んでいます。	プロジェクト連携会議等報償費	468	
	プロジェクト連携会議等旅費	523		
	リニア駅周辺整備関連業務等委託料	134,774		
	事業用地購入費	0		
	物件移転等補償費	0		
	その他の経費	1,686		

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			リニア駅周辺整備事業実施設計	%					0	0

2年度決算(千円)	予算額		605,552	特定財源内訳及び補足事項						
	決算額		137,451	(国) 社会資本整備総合交付金(街路事業) (5.5/10)						
	財源の状況	国庫支出金	11,220	(地) 公共事業等(充当率90%)						
		県支出金	0	(そ) ふるさと寄附金 1,800千円						
		地方債	10,500	(そ) リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金繰入金 85,015千円						
		その他	86,815	1→2 繰越明許費 110,286千円						
一般財源		28,916	2→3 繰越明許費 429,275千円							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	17	10	5	605,552	137,451	リニア駅周辺整備事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・実施設計の協議や作業と並行して、プロジェクト体制による研究と検討を進め、次世代インフラPJとトータルデザインPJに関しては、計画に沿って進捗しています。コロナの影響を受ける面もありますが、ブランドクリエイティブPJが遅れているため、重点的に進めていく必要があります。また、3つのプロジェクトの連携を図り、建築の実施設計に向けての体制を構築していく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・取り組みが遅れているブランドクリエイティブPJについては、上半期までに立ち上げます。参画事業者の発掘や育成等も視野に入れた具体的な取組を開始します。							
次年度に向けての取り組み		・基本設計を踏まえ、規模、構造及び全体的なデザイン等を検討・決定し、年度末までに土木の実施設計を完了させます。 ・令和4年度からの建築設計や交通・エネルギーのスムーズな事業着手に向けたワーキング立上げに必要なプロポーザル等の準備を進めます。							